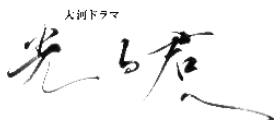




“多様性”を意識した番組制作が拡大中！ ～12番組が国際的プロジェクトへ参加～



NHK では、多様な視聴者のニーズに応えるコンテンツを提供できるよう、様々な視点やテーマを取り入れるなど、ダイバーシティの実現を推進しています。

この一環として、2021年4月から、イギリスの公共放送・BBC が立ち上げたプロジェクト「**50:50 The Equality Project**」に世界30か国・50を超える組織とともに参加。ドラマに出演する俳優や情報番組の進行役、報道番組で取り上げる専門家などのジェンダーバランスなどを意識し、多様な視点を取り入れた番組制作を行う取り組みを進めています。

50:50 The Equality Project とは

イギリスの公共放送・BBC が2017年に始めたプロジェクトで、「番組の出演者の女性の割合を測定し、増やす」というアイデアからスタートしました。コンテンツにおいて、多様な社会を公正に映し出すことを目指しており、現在BBCでは人種や障害のある当事者なども計測の対象としています。プロジェクトは任意参加で、3つの基本原則に基づいて実施します。

- ① 変化をおこすためにデータを収集する
- ② 自分たちの裁量で決められる出演者を測定する
- ③ コンテンツの品質は妥協しない



出演者の割合を可視化することで、偏りがあれば制作現場の担当者がそれを認識し、次のコンテンツ制作に生かします。

NHK は、このプロジェクトに日本のテレビ局としては、唯一、参加。取材・制作現場への理解を広げながら、多様な社会を映し出そうと取り組んできました。

プロジェクトへの参加からまもなく3年となる今、多くのコンテンツの中身、そして、その制作現場の意識においても多様性について変化が見られるようになりましたので、取り組みの経過をご報告します。

【コンテンツにおける男女比の変化 ～プロジェクト参加番組は12に拡大～】

参加当初 平均		2023年3月 平均		2023年12月 平均
女性 %	男性 %	女性 %	男性 %	集計中
39	61	42	58	
6番組		8番組		

NHKでは、当初、「大河ドラマ(『青天を衝け』～)」、「連続テレビ小説(『おかえりモネ』～ ※東京制作のみ)」、「よるドラ(『きれいのくに』～)」、「あさイチ」、「ハートネット TV」、「ノーナレ」の6つの番組のみプロジェクトに参加。出演者を男女別にカウントし、現状のジェンダーバランスを把握することから始めました(※性別は、出演者が自認する性で計測)。

プロジェクトの認知や理解は徐々に広がり、「おはよう日本」、「ニュースウオッチ9」、「クローズアップ現代」、「サタデーウオッチ9」、「日曜討論(2023年10月～)」、「ドキュメント 20min」が加わり、今年度は12の番組が参加。このプロジェクトの手法にもとづいて男女比を分析し、多様性を意識したコンテンツ制作をしています。

【今後の展開 ～多様な社会を映すために～】

プロジェクトに参加した番組の制作現場では、男女をカウントし、その比率を意識することでさまざまな“気づき”がありました。中には、取材テーマやドラマの題材を検討する時点から多様性を自然と意識するようになったり、画面の裏側にある取材・制作チームの男女比にも変化が見られたりした番組もあります。

2024年度からは、地域放送局を含めてこのプロジェクトに参加する番組を増やし、NHK全体へ取り組みを広げていく予定です。

★後日、メディア向けの報告会をあらためて開き、詳しい取り組みの内容や各制作現場の声を伝える予定です。



NHKは、国連とメディアが共同で実施するキャンペーン「1.5°Cの約束 - いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」に参加しています。

NHKの最新のプレスリリース 経営/コンテンツ・サービス
<https://www.nhk.or.jp/info/>

※「どーも、NHK」X(@nhk_domo_nhk)でも情報発信しています

